

令和4年度 今別町教育委員会事務事業点検評価報告書

【令和3年度分】

令和4年6月

<p>点検・評価にあたって</p>	<p>平成19年6月に、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され（平成20年4月1日施行）各教育委員会においては、毎年、その権限に属する教育行政事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成して議会に提出するとともに、公表することとされました。 この法律改正を受け、今後の効果的な教育行政の推進及び町民への説明責任を果たしていくために、同法第26条の規定に基づき事務の点検・評価を行い、報告するものです。</p>						
<p>「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」(抜粋)</p>	<p>(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等) 第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。 2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。</p>						
<p>対象と方法</p>	<p>令和4年度の点検評価の対象は、令和3年度の取組について実施しました。各重点項目の事務事業内容を点検対象とし、具体的な取り組み状況、個々の事業が適切に実施されているかどうか、事業ごとに（事務局9、学校教育7、社会教育18、学校給食2）記載しました。</p>						
<p>評価者 (今別町教育委員名簿・令和3年度在籍)</p>	<table border="1"> <tr> <td>教育長 勝野義彦 (R3.3.10～R6.3.9)</td> <td>委員 相内 渉 (R3.12.15～R7.12.14)</td> </tr> <tr> <td>教育長職務代理 高名和丸 (R元.6.23～R5.6.22)</td> <td>委員 水信美枝子 (R3.12.15～R7.12.14)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>委員 相内啓司 (R3.12.3～R5.9.18)</td> </tr> </table>	教育長 勝野義彦 (R3.3.10～R6.3.9)	委員 相内 渉 (R3.12.15～R7.12.14)	教育長職務代理 高名和丸 (R元.6.23～R5.6.22)	委員 水信美枝子 (R3.12.15～R7.12.14)		委員 相内啓司 (R3.12.3～R5.9.18)
教育長 勝野義彦 (R3.3.10～R6.3.9)	委員 相内 渉 (R3.12.15～R7.12.14)						
教育長職務代理 高名和丸 (R元.6.23～R5.6.22)	委員 水信美枝子 (R3.12.15～R7.12.14)						
	委員 相内啓司 (R3.12.3～R5.9.18)						
<p>令和3年度今別町教育施策の方針</p>	<p>今別町教育委員会は、青森県教育施策の方針を基に、町民憲章の精神を体し、「みんな活き活き健康長寿奥津軽いまべつタウン」の実現に向けて、教育力向上と充実を図り、心身ともに健康で創造力に富み、思いやりのある豊かな心と郷土に誇りを持ち、社会の変化に主体的に対応できる人づくりを目指した教育の推進に努めます。 そのため、町内関係機関、団体との連携のもと、個を生かし、生きる力と夢をはぐむ学校教育、心のふれあう社会教育、社会体育活動の充実、未来へ伝える芸術文化の興隆と文化財の保護を推進します。</p>						

共通評価項目の結果と考察及び改善方策等

(4 十分達成されている 3 おおむね達成されている 2 あまり達成されていない 1 達成されていない)

共通評価項目	事業内容	評価	共通評価項目の結果に対する考察及び改善方策	実績
1 教育委員会運営事業	1 教育委員会運営事業	3	定例会は、会議規則に基づき開催している。会議内容は、報告及びその他事項が会議の大半を占めているが、そのつど意見交換がなされ充実した会議運営がなされた。	定例会12回 議案 18件、承認10件、報告4件
	2 総合教育会議運営事業	3	昨年は11月に小学校の移転計画の状況・GIGAスクール用タブレットの活用状況について、実際に学校を訪問して授業風景を見学した。	実施回数1回
	3 学校評価評議員等設置事業	3	小・中学校とも半数以上の出席率で学校教育活動に重要な役割を果たしていた。	実施回数 小・中各2回
	4 スクールバス管理運営事業	3	児童生徒の登下校における防犯上を含め諸問題が解消されている。バスは長年の使用で管理維持費が増額傾向にあることから更新計画を図っていく必要がある。	路線 海方面・山方面・浜名方面 年間運行日 206日(小学校基準)
	5 学校保健事業	3	児童生徒に対する健康の保持増進、疾病の早期発見、学校管理下における安全の確保と保障が図られている。	内科健診・歯科検診・眼科検診・耳鼻科健診をそれぞれ1回実施
	6 奨学金貸与事業	3	事業の周知と相談を行ない、修学に伴う保護者の負担を軽減し、修学の機会を実現に向けた環境を図っている。	大学生等 6人 高校生 2人
	7 ALT・CIR招致事業	3	学校や行政組織の中で、外国語や国際交流のために、地域や住民に密着した活動を行うことを通じ、日本を経験し、母国に帰ったあと、知日家・親日家として様々な分野で活躍し、日本と母国との間の貴重な橋渡し役となる。	ALT エリザベス マーガレット シェルビー (オーストラリア)(前期) ドゥエイン エドワード アンソニー(アメリカ)(後期) CIR サンボールドジ オコンブリグ (モンゴル)(～10月)
	8 準要保護児童生徒就学援助事業	4	経済的理由により、小中学校への就学が困難な児童生徒をもつ保護者に対して、学用品費、学校給食費など就学に必要な経費の一部を援助している。	アルバム代の支給及び新入学児童・生徒学用品費を3月に支給した。
	9 小・中読書教育振興事業	3	学校教育に欠くことができない基礎的な設備であることに鑑み、その健全な発達を図り、学校教育を充実することを目的とし、児童生徒の図書購入により図書の整備、活用の充実が図られた。	令和3年度 小・中図書購入費 小学校 155,881円 中学校 50,954円
2 学校教育 学校施設整備事業	1 小学校教育コンピューター整備事業	4	高度情報通信ネットワーク社会が進展していく中で、コンピューターやインターネットを活用し、情報社会に対応できる情報活用能力の育成に努めた。	GIGAスクール構想における児童生徒1人1台端末の環境を整えた。
	2 小学校施設整備事業	3	年数を経過している校舎であり、安全・安心な学習環境を図るため、計画的な維持管理に努めた。	浄化槽管理及び一般廃棄物種修運搬業務委託・電気工作物保安管理、消防電気設備、遊具保守点検委託
	3 小学校施設修繕事業	3	児童が学校生活を安全かつ快適に送れるよう計画的に補修・修繕を行い、教育環境の向上に努めた。	校舎小破箇所修繕・照明器具更新・遊具小破修繕・電気設備補修・草刈り点検整備 予算執行額 71,350円
	4 中学校教育コンピューター整備事業	4	高度情報通信ネットワーク社会が進展していく中で、コンピューターやインターネットを活用し、情報社会に対応できる情報活用能力の育成に努めた。	GIGAスクール構想における児童生徒1人1台端末の環境を整えた。
	5 中学校施設整備事業	3	安全・安心な学習環境を図るため、計画的な保守点検に努めた。	・消防電気設備及びダムウェーター保守・電気工作物保安管理点検委託・校舎ガラス等清掃及び一般廃棄物収集運搬業務委託・浄化槽管理委託
	6 中学校施設修繕事業	3	生徒が学校生活を安全かつ快適に送れるよう計画的に補修・修繕を行い、教育環境の向上に努めた。	・体育館暖房設備・浄化槽設備・除雪機等点検整備・照明設備更新・校舎等小破修繕・トイレ修繕・旗ポール修繕 予算執行額 742,489円
	7 中学校各種競技大会参加助成事業	3	各種大会に参加する選手の交通費等に補助金を交付することにより、参加者の負担を軽減し、技術、能力の向上を目指し、スポーツの振興を図った。	バレーボール・野球・フェンシング各種大会参加料及び登録料・負担金・生徒活動・文化活動 予算執行額 141,200円
3 社会教育事業	1 今別町社会教育委員設置運営事業	3	合同会議は新型コロナウイルス感染防止のため書類の送付を行い、町社会教育関係事業について周知を踏った。研修会についても軒並み中止となった。文化賞等の候補者を決めるために審議会を開催。	合同会議→中止(書類送付) 研修会→中止 文化賞等審議会→12月15日開催
	2 今別町中央公民館主管事業	3	地域の生涯学習拠点として、施設の整備、環境を良好に維持し、町民が気軽に文化活動する場を提供し、文化にふれあう機会の増大を図った。	公民館講座(教室)は、3講座・9サークルが活動している。 また、「大人のぬり絵」・「あみもの講座」が人気となっている。公民館まつりについては中止としたが定期的に活動をしている。
	3 文化賞・スポーツ賞等表彰事業	3	文化の向上やスポーツの普及振興に関し著しく貢献した個人・団体を表彰した。	各種大会やコンクールにおいて優秀な成績を収めた町民を表彰し栄誉を称えている。 児童・生徒文化賞1名・スポーツ賞1名
	4 成人式開催事業	4	コロナにより1年延期となっていた令和2年度に開催すべき成人式を8月13日の午前中に行い、同日午後からは法律の改正により18歳が成人となることを受け、新たに令和3年度20歳を祝い会を実施した。	R2対象者18名のうち参加者 男子 7名、女子 6名 R3対象者14名のうち参加者 男子 5名、女子 5名
	5 文化・芸術振興奨励事業	3	新型コロナウイルスにより、一部事業については中止となったが荒馬の伝承活動の実施や芸術鑑賞教室による芸術振興を図ることができた。	荒馬伝承活動(小学校)→今別荒馬保存会 芸術鑑賞教室(中学校)→オペラ鑑賞教室(中止)

3 社会教育事業	6 家庭教育充実事業	3	身近な場所で子育てに関する相談、情報収集、仲間づくりの機会がもてるようにすることにより、保護者が孤立せずに子育てすることができる環境づくりに努めた。	家庭教育支援コーディネーターを2名配置し、子育ての悩みや相談について、保育園に入園していない親子を対象に「子育てサロン」として月1回、保育士と連携を図りながら公民館において開催している。この事業により親同士のつながりができ、参加者も楽しみに参加している。	
	7 青少年教育充実事業	3	野外活動や体験学習を通して集団生活における規律・道徳を学び、生きる力や豊かな人間性の育成に努めた。	公民館子ども教室を活用し年10回程度の体験学習等を実施。地域の方や講師の先生に依頼するなど充実した事業となった。また、親御さんが見学に来る方もいるのでコミュニティの形成もできつつある。	
	8 社会教育団体育成補助事業	3	社会教育関係団体の自主的活動の促進を図った。	PTA: 郡PTAや県PTA大会は中止となった。婦人会: 婦人芸能祭も中止となったが、踊りの練習やマスコットづくりを行ったほか、婦人会内での交流のためベタング大会を行うなど精力的に活動している。	
	9 文化団体育成補助事業	2	文化活動の総合的な企画推進、各種文化団体との親睦交流を図るため、公民館まつりを開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染防止のため中止。しかしながら、各文化団体に活動を継続して行うなど会員同士の親睦を図ることができた。	公民館まつりの中止に伴い、補助金申請を行わなかった。	
	10 放課後子ども教室	3	放課後子ども教室は、すべての児童を対象に安心安全な子どもたちの居場所(活動拠点)を学校、社会教育施設等に設け、放課後や学校休業日に地域の方々の参画を得て、子どもたちに勉強やスポーツ、文化交流活動等を取り入れ、コーディネーター・サポーターを配置して子どもたちが地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進するため実施した。	今年度で15年目を迎え、登録児童30名で136日開催・公民館子ども教室6回開催 地域の方の参画を得て、ものづくり、昔遊びなどを取り入れながらいろいろな体験をしている。コーディネーターの企画力、サポーターの努力が顕著である。	
	11 文化財保護団体育成補助事業	3	郷土芸能「今別町の荒馬」を永久に保存し、青森県指定の無形民俗文化財として郷土芸能の振興を図った。	今別、大川平、二股荒馬保存会補助金各 100,000円	
	12 今別町スポーツ推進委員設置運営事業	3	町民のスポーツを通して、心身ともに健康で潤いと生きがいのある生活を目指して、生涯スポーツの推進と健康増進及び社会体育振興に努めた。	いまべつ総合体育館が完成したことに伴い、各種スポーツ振興・健康づくりの推進という目的が徐々にではあるが達成の見込みが見えてきた。	
	13 学校開放事業	3	学校体育施設を学校教育に支障のない範囲で開放し、社会体育の振興を図り、心身ともに健全な町民の育成に努めた。	スポーツ団体等の活動及び生徒との交流(練習)に、学校開放は重要な役割を果たしている。	
	14 社会体育施設管理事業	3	施設を安全かつ快適に利用できるよう維持管理の充実に努めた。	維持管理の面では、合宿や宿泊の集客増加に向けて洗濯機や乾燥機を追加した。	
	15 スポーツ協会育成補助事業	3	新型コロナウイルスにより各種事業が中止となったが、町スポーツ協会の組織強化を図るため、各種スポーツ団体や町民と一体となった活動を展開し、活力ある町づくりと町民一人一スポーツを積極的に推進した。	・事務局費 38,312円 ・県民体育大会 郡予選 30,278円 県大会 129,360円 ・強化費 65,000円 ・スポーツ育成補助金 0円 ・クラブ主催事業補助費 105,000円	
	16 県民駅伝競走大会参加事業	1	新型コロナウイルスにより開催が中止となった。		
	17 体育施設(いまべつ総合体育館)促進事業	3	スポーツの振興(スポーツ教室や大会の誘致)及び健康づくりの拠点として、施設の有効的な活用を図った。	指定管理者によるスポーツ教室の開催 各種スポーツ大会の開催(バドミントン) クラブの練習(バレーボール・バドミントン等) トレーニング器具の充実	
	18 今別町文化財保護審議会委員設置運営事業	3	町内に残されている多くの価値ある歴史遺産、中でも有形文化財・無形文化財・民俗文化財・記念物・文化的景観及び伝統的建造物の保存及び啓蒙に努めた。	県指定: 赤根沢の赤岩・青銅塔婆・今別町の荒馬 町指定: 大銀杏の木・大開城跡・今別八幡宮狛犬2対・貞伝上人作石佛・善導大師圓光大師の坐像・鉦鼓・石仏薬師如来像・惣栄上人作観音像・貞伝上人作阿彌陀如来像金仏3体・船松馬・浜名「ホウノキ」・鍋田「ハリギリ」	
	4 学校給食事業	1 学校給食事業	4	楽しく食事をする事、健康に良い食事の取り方、給食時の清潔、食事環境の整備など、望ましい食習慣の形成を図るとともに、食事を通して好ましい人間関係の育成に努めた。	調理従事者の衛生管理の徹底に努めながら、安全な食材の確保、地産地消推進事業を進めている。今年度から給食費の保護者負担をなくした。 ・栄養教諭1人・調理員4人
		2 学校給食センター管理運営事業	3	給食機器等の修繕を実施することにより、衛生的で充実した給食を提供した。	年々修繕箇所が多くなっているが、その都度設備の修理、機器等の更新を行い維持管理に努め、児童生徒へ安全・安心な給食を提供している。

総合評価

本年度の総合的な評価としては、「概ね達成」という評価となっている。

事務局関係については、昨年同様の事務内容及び事務量となっている。

学校教育関係では、新学習指導要領の情報教育・ICT活用教育 (Society5.0) 情報活用能力を、言語能力と同様に「学習の基礎となる資質・能力」の養成を図るため、小・中学校のICT環境の整備とICTを活用した学習の充実に努めている。GIGAスクール構想における児童生徒1人1台端末の環境整備に伴い、情報教育・ICT活用教育・情報活用能力を高めるよう引き続き実施しています。

社会教育関係では、公民館事業への参加者が依然として固定化しており、新規の参加者が中々増えない状況は変わっていませんが、リクエスト講座として地域の歴史にスポットをあてた歴史講座を「いまべつを語り継ぐ会」と連携しながら月1回ペースで継続したところ、徐々にではあるが参加者が増えつつあるので継続していきます。

放課後子ども教室推進事業については、子どもたちはもちろんですが保護者からも大変喜ばれている事業となっています。更に、就学前の子どもと保護者を対象に、つながりをつくることを目的に保育園と連携して開催している「サロンほっとケーキ」事業や土曜学習事業についても好評を得ています。

社会体育関係では、「いまべつ総合体育館」は完成から3年が経過しましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から利用の制限をするなど、思うように利用者が増えていない状況である。今後、ますます体育施設としての需要が高まると予想されることから、施設設備の充実や維持管理等の充実に努め、より快適な環境でスポーツ活動や健康づくりの拠点となる施設として活用していきます。

新型コロナウイルスの感染拡大により、2020東京オリンピック・パラリンピックが1年遅れで開催となったが、モンゴルチームからの出場は叶わなかった。事前合宿も開催できなかった。

学校給食については、令和5年度に新施設を建設する予定となっており、今まで以上に安全で安心して食べてもらう給食を提供するため、徹底した衛生管理に努めていきます。

今後は、今年度の点検・評価を次年度に反映させ、各事業のねらいや効果を再点検しながら学校教育及び生涯学習の更なる推進に努めていきます。